

令和4年度

事業実績報告書

令和4年 4月 1日から
令和5年 3月31日まで

学校法人

茨木学園

茨木みのり幼稚園

令和4年度
事業実績報告書

令和4年4月 1日から
令和5年3月31日まで

(I) 法人の概要

- 法人名 学校法人茨木学園
- 幼稚園名 茨木みのり幼稚園
- 郵便番号 567-0891
- 所在地 茨木市水尾3丁目1番41号
- 電話番号 072-632-2771
- FAX番号 072-634-6554
- E-mail info@minority.ac.jp
- URL http://www.minority.ac.jp
- 理事長名 中 好 枝
- 園長名 辻田 佳根子

- 1. 幼稚園認可年月日 昭和28年 9月29日
- 2. 創立記念日(開園日) 昭和28年10月20日
- 3. 法人認可年月日 昭和47年 9月 1日
- 4. 所轄庁 大阪府知事
- 5. 役員数

選任区分	寄付行為の規定内容	定数	現員	任期
(理事)				
寄付行為第6条第1項第1号	茨木みのり幼稚園園長	1	1	-
第6条第1項第2号	評議員会選任理事	5	5	3
第6条第1項第3号	理事会選任学識経験者	1	1	
計		7	7	-
(監事)	-	2	2	3
(評議員)				
寄付行為第23条第1項第1号	法人の職員で理事会で推薦し評議員会選任	5	5	3
第23条第1項第2号	卒業生若しくは卒業生の保護者又は生徒の保護者で理事会選任	5	5	
第23条第1項第3号	理事会選任学識経験者	5	5	
計		15	15	-

6. 諸規定の整備状況

項 目	規定の有無	規定の名称
教職員の就業に関する規定	有	「就業規則」
教職員の給与・退職金に関する規定	有	「給与・退職金規程」
教職員の育児・介護休業に関する規定	有	「育児休業規程」「介護休業規程」
会計に関する規定	有	「経理規程」「経理規程施行細則」
授業料の減免に関する規定	有	「授業料減免規程」
入学金の減免に関する規定	有	「入園金減免規程」
入園金の返還に関する規定	有	「入園金返還規程」
慶弔・旅費などに関する規定	有	「慶弔規程」「旅費規定」

7. 理事会の開催状況

- 令和4年 3月26日、令和4年度事業計画・予算承認、寄付行為変更、
役員等に対する報酬等の支給の基準制定、就業規則一部変更
- 令和4年 5月21日、令和3年度事業報告・監査報告・決算承認、役員等に対する報酬等の支給基準制定
- 令和5年 2月25日、令和4年度補正予算承認、
- 令和5年 3月25日、令和5年度事業計画・予算承認

8. 公認会計士の監査状況

- 監査実施年月日 令和4年4月25日、令和4年11月14日、令和5年3月7日
- 監査報告参考事項の有無・・・ なし

創立の趣旨

いわゆる私学の自由な立場に立ち、あたたかい雰囲気とまことの心を持って幼児を保育し、真理に目覚めた正々堂々たる人間として、共同社会における各自の立場で、必要欠くべからざる人に育てるべく、幼児教育を実践する。

教育の理念

- ・人と人がかかわって、豊かな遊びが発展していく環境を作る。
- ・子供の主体性や感性、知性そして人間性を育む教育の実践。

教育の目標

- ひとりひとりの個性を大切にしながら、明るく生き生きとした子どもの育成に努めます。
- ・基本的な生活習慣、態度を育て、健康で丈夫な身体をつくります。
- ・自分で考えて行動できる力を養います。
- ・人との関わりの中で社会性、協調性を養います。
- ・様々な体験を通して豊かな感性、創造性を育てます。

教育の方針

- ・子どもにとって良い環境を整え、明るく伸び伸びとした集団生活を営ませます。
- ・ひとりひとりの子どもの発達段階に応じた保育を行います。
- ・様々な人や物、出来事と出会い、興味や関心を大切に、意欲や思いやりのある子どもを育てます。

9. 基本財産等の管理状況

① 園地

区分	自己所有(m ²)	借用(m ²)	計(m ²)	所有者	抵当権設定の有無
園舎敷地	1,561.66	—	1,561.66	学校法人 茨木学園	無
運動場 (うち幼稚園)	1,466.14 (1,466.14)	—	1,466.14 (1,466.14)		
(うち保育所)	(0.00)	—	(0.00)		
その他	440.36	—	440.36		
合計	3,468.16	—	3,468.16		

② 園舎

建築年度 構造	棟番	自己所有(m ²)	棟番	借用(m ²)	棟番	計(m ²)	所有者	抵当権設定の有無
昭和43年 鉄筋コンクリート	A棟	877.22	A棟	—	A棟	877.22	学校法人 茨木学園	無
平成7年 鉄筋コンクリート	B棟	1,318.38	B棟	—	B棟	1,318.38		
平成18年 鉄骨	C棟	392.41	C棟	—	C棟	392.41		
平成7年 鉄骨	D棟	239.76	D棟	—	D棟	239.76		
合計		2,827.77	—			2,827.77		

(園舎の内訳)

(地階)

室名	棟番	面積 m ²	室名	棟番	面積 m ²
園長室	B棟	46.60	倉庫①	B棟	54.35
職員更衣室	B棟	15.85	廊下・その他①	B棟	40.08
受水槽ポンプ室	B棟	28.56			
湯沸室	B棟	2.85			
研修室	B棟	77.44			

(地階小計265.73m²)

(1階)

室名	棟番	面積 m ²	室名	棟番	面積 m ²
保育室①	B棟	55.02	ユーティリティ	B棟	6.95
保育室②	B棟	64.46	廊下・その他②	B棟	121.50
保育室③	B棟	54.00	廊下・その他③-1	A棟	22.71
保育室④	A棟	54.38	廊下・その他③-2	A棟	22.71
保育室⑤	A棟	54.38	廊下・その他⑨	C棟	10.12
保育室⑥	A棟	54.38	ピロティ	C棟	126.44
保育室⑦	A棟	56.54	廊下・その他⑪	C棟	8.73
保育室⑮	D棟	58.31	廊下・その他⑭	C棟	40.56
保育室⑯	D棟	58.31	廊下・その他⑮	D棟	11.34
職員室	B棟	53.91	プレイコーナー①	A棟	29.19
保健室	B棟	4.74	プレイコーナー②	A棟	58.38
クリーンルーム	B棟	7.14	プレイコーナー③	A棟	29.78
事務室	B棟	23.05	倉庫⑤	C棟	14.70
多目的ホール①	B棟	50.10	倉庫⑭	D棟	1.96
湯沸室	B棟	8.18	倉庫⑦	D棟	4.05
調理室	D棟	71.78	倉庫⑧	D棟	2.70
便所①	B棟	21.44	倉庫⑨	D棟	5.40
便所②	A棟	22.36	倉庫⑩	D棟	5.40
便所③	A棟	22.36	倉庫⑪	D棟	4.14
便所④	B棟	3.20	倉庫⑫	D棟	3.10
便所⑩	D棟	4.86	倉庫⑬	D棟	5.65
便所⑪	D棟	2.76			

(1階小計 1,341.17m²)

(2階)

室名	棟番	面積 m ²	室名	棟番	面積 m ²
保育室⑧	A棟	54.38	プレイコーナー④	A棟	29.19
保育室⑨	A棟	54.38	プレイコーナー⑤	A棟	45.14
保育室⑩	A棟	54.38	倉庫②	B棟	32.19
保育室⑪	A棟	56.54	便所⑤	B棟	9.68
保育室⑫	C棟	54.75	便所⑥	A棟	8.60
保育室⑬	C棟	54.75	便所⑦	A棟	8.60
保育室⑭音楽室	B棟	54.10	便所⑨	C棟	13.25
遊戯室	B棟	234.09	廊下・その他④	B棟	33.94
図書室	B棟	44.46	廊下・その他⑤	A棟	126.02
多目的ホール②	B棟	69.77	廊下・その他⑫	C棟	16.79
			廊下・その他⑬	C棟	7.18

(2階小計1,062.17m²)

(3階)

室名	棟番	面積 m ²	室名	棟番	面積 m ²
ゲストルーム	B棟	75.85	廊下・その他⑥	B棟	18.61
倉庫③	B棟	6.28	廊下・その他⑦	B棟	40.76
倉庫④	B棟	8.60	廊下・その他⑧	B棟	4.30
便所⑧	A棟	4.30			

(3階小計158.70m²)

合計 2,827.77m²

10. 施設設備の整備状況

●保育棟の環境

- ① 保育室と廊下(前室)は、段差のないフロアーにして一体感を出し、子どもたちの遊び場としています。
- ② 全保育室に冷暖房設備、年少・年中組1階保育室には床暖房を備えています。
- ③ 保育室内の子どもたちが毎日使用するロッカーやおもちゃ棚は、使いやすさを考慮したオリジナルなものをセッティングしています。
- ④ プレイコーナー 保育室のドアを開け放すと、ひと続きのオープンスペースになります。
- ⑤ 2Fホール 遊戯室へ入る手前の2Fホールは、トップライトから光が差し込むようになっており、図書コーナーにつながっています。
- ⑥ 図書コーナー 保護者が一緒に入って絵本を見たり選んだりできる図書コーナースペースがあり、貸し出しできる絵本も豊富にあります。
保護者用 557冊 職員室用 690冊
絵本 2,188冊
図書貸し出し 年長組週1回実施
- ⑦ 遊戯室 遊戯室は、全園児がゆったりと集会できるフロアーがあり、舞台まわりが全部階段になっていて、舞台とフロアーに一体感を出しています。
- ⑧ 音楽室 2Fの音楽室には、いろいろな楽器がそろっています。
(キーボード、マリンバ、グロッケン、ヴィブラホン、バスキーボード、コンガ、ボンゴ、スタンドシンバル、ハイハット、大太鼓、小太鼓、平太鼓、タムタム、バスマリンバ、ウインドチャイム、ハンドベルなど)
- ⑩ ピロティ 子どもの遊び広場として、また保護者のための送迎機場ともなります。
- ⑪ トイレ 乾式の明るく衛生的な子ども用洋式トイレ(暖房便座)を完備し、男児用は自動センサーで水が流れます。3歳児用のトイレは、教諭の目が届きやすいように扉をはずしています。1Fトイレには2歳児用トイレ、乳幼児おむつ用ベッド及び乳幼児いすを設置しています。

●園庭の環境

- ① 園庭は必要に応じて土の入れかえを行い、いつでも裸足で遊べるように整備しています。
- ② 園庭の東にある築山には人工芝を張り、斜面を利用した遊び場や、四季を感じたり小鳥たちの集まる樹木を植栽しています。
- ③ 築山の片面には石を積み、池や滝を作って水を循環させています。池ではカメを飼っています。

(Ⅱ) 事業の概要

(1) 本年度の概要

- ① 幼児教育を巡る環境は、大きく変化していくことが予想されますが、国の動向も注視しながらもまずは、本園の地域・保護者のニーズに応じた私立幼稚園の像を作り上げ、子どものためになる幼稚園を創造していきたいと考えております。
3歳児定員の拡充、子育て・家庭支援の取組みを強化すると共に、子どもの健やかな成長、発達を保障する為、今後とも、教育・保育の内容、教職員や施設設備等保育環境の充実を図り、今日まで以上に地域に根差した幼稚園としての位置づけを明確にし、本園独自の教育方針を確立する為、より一層努力を重ねる必要があります。

本年度の園児数は別記の通り令和4年5月1日現在245名(前年度306名)
入退園を差引した年間平均園児数は3歳児4学級77名(前年度94名)・4歳児3学級89名(前年度87名)・5歳児3学級79名(前年度93名)合計245名の運営でありました。

- ② 園児納付金については、本年度は据え置きしておりますが、本格的な少子化を迎えることによる収支差額の悪化に備える為、又、保育の質の向上、教育設備充実は素より人件費の上昇、物価高騰もあり、次年度以降については、園児納付金の改定を図る必要を感じております。但し、新制度への移行により良好な教育環境づくりに寄与するものであれば納付金を値上げせず、現状維持できるものと考えます。
なお、兄弟姉妹同時に在園する事となる場合、入園金については経済状況の変化と共に減免を実施しています。
- ③ 子育て支援の役割を担う育児相談や預かり保育・プレイルームの実施に伴い、育児体験・社会経験豊かな教員を配置しました。
障がい、多国籍など多様な子どもの保育、チーム保育の充実の為、非常勤教諭・フリー教員を配置しております。教員の資質向上は社会の関心事であり、園の研修体制や研修内容の質の向上・充実を図り、大阪府や私立幼稚園連盟など主催の外部の研修会やコロナの為、webの研修などに参加しました。
本園の教育方針や指導計画、教員の保育実践における[振り返りの専門性]を確立するために自己点検・自己評価に関する学びを深め、実施しています。学校評価の結果はホームページなどで公表しております。

- ④ 教育事業としての保育内容の充実には当たっては、遊べる子どもに育つことによって、社会性や自主的態度を育成し、遊びから学習することを知り、認識機能を発達させるよう取り組みました。また表現活動(造形・音楽・劇的活動)を通して感性を磨き、童話や動植物に触れ、子どもの心を育てるよう取り組むとともに、体力づくりにより、運動機能を発達させるよう取り組みました。「体育指導」では基礎体力が身につくように各学年に応じた指導計画を作成し、鉢全体を使っての運動やゲームにより、視覚と聴覚を通して運動感覚を養いながら運動機能の発達に取り組み「音楽指導」では幼児期の聞く力の発達を図り、歌うことや楽器を使うことの楽しさを味わいながら、リズムパターンを奏でたり、メロディーの出る楽器が使用できるように取り組みました。また年長組と年中組では外国人と親しく接し、楽しく遊ぶ機会を作るため、外国人による「英語レッスン」の時間を年間を通して設定しました。「絵画指導」では、いろいろな画材に触れ、絵本やお話を通して自分なりの表現が発揮できるように取り組みました。
「幼稚園教育要領」にある発達や学びの連続性に留意し、小学校教育との接続性や体験や言葉の重視を図りました。
本年度重点的に取り組んだ目標や計画は、幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿をより深く学びあえるようドキュメンテーションを作成する研修を行い、子どもの育ちを10の姿と照らし合わせて読み解き、保護者にも発信しました。遊びの環境では季節を意識子どもたちが遊びたい環境構成の工夫ができるよう意識しました。異年齢交流ではコロナ禍で、新しい生活様式でのかわり方を考えた取り組みを行いました。ICT化を進め、保護者との連絡、登降園、出欠、預かり保育利用登録、料金の管理などシステムを取り入れ進めております。また職員1人1台タブレットを導入し保育に活用できるよう取り組んでいます。
消防、地震、防犯訓練を計画的に年間9回実施いたしました。
「特別支援教育」については障害児を健常児と保育することにより身体的・心理的に望ましい発達を助長し健常児にも望ましい心情を育むことを目標に積極的に取り組みました。わが子の育ちに不安を感じる保護者相談や教諭による集団保育への参加が難しい子どもへの個別支援計画を作り本年度は3名を受け入れました。

- ⑤ 「預かり保育」事業など子育て支援は幼稚園が果たすべき、必須の役割となりました。「預かり保育」については「単に預かる」だけでなく保育内容も定め、保育の質も確保しています。
従来は保育所しか選択できなかった幼児や保育所入所要件に達しない保護者の幼児も含めて安心して幼稚園を選択し、質の高い幼児教育を受けられる環境整備を進めています。
「大阪スマイルチャイルド事業」に参画し、幼稚園開園11時間以上及び5時間以上の預かり保育時間数の実施、通常預かりは月曜日から金曜日の保育終了後の午後2時～5時とし、早朝預かり午前7時30分～8時40分、延長預かり午後5時00～6時30分を実施しました。長期休業中の預かり保育を1日10時間・年間42日間実施しました。通常預かり保育日数は191日、延べ4547名が利用し、休日預かり(土曜日)はなし、長期休業中の預かり保育日数は42日間、延べ635名が利用しました。

- ④ 園庭の周りには花壇を多くとり、四季の草花を楽しんでいます。
⑤ アスレチック遊具 KOMPAN遊具を数種類組合わせたアスレチック総合遊具を設置しています。
(滑り台・展望台・回旋塔・登攀ネット・登坂壁)
難しいことに挑戦することがコンセプトのジャクエツ鉄製総合遊具Withを設置しています。
(ウォールライダー・クライム・ウォール・クロス)
⑥ 砂場 藤棚に囲まれた砂場は、夏も涼しくどろんこ遊びも存分に楽しめる広さがあります。
2・3歳児専用の砂場を別に設置しています。
持続性のある消毒を行い、安全に砂遊びができます。
必要に応じて砂場の土の入れ替えも行っています。
⑦ ログハウス 角ログを使ったログハウスがあります。
⑧ 屋外ステージ 角材を使った半円形の屋外ステージがあります。
⑨ 農園 園庭の隅にあり、いちごや野菜(玉ねぎ、ミニトマト、スナップエンドウ、きゅうり、なすび、ピーマン、オクラなど)の収穫も経験します。
⑩ プール 夏の暑い時のプールが気持ちがいと感じられるように、屋外プールを屋上に設置しています。
⑪ 動物小屋にはアヒルとチャボがいます。
⑫ 園舎1階の廊下にウサギや小鳥(十姉妹)がいます。
(その他各クラスでカブトムシなどを飼っています。)

●その他の環境

- ① 空調設備等 全保育室に冷暖房設備、空気清浄機を設置。年少・年中組1階保育室には床暖房も設備。
遊戯室・音楽室、研修室なども冷暖房設備。保育室3か所換気システム導入
② バリアフリー 正門前及び1階保育棟入口にスロープ
保育室と廊下ホール間に段差なし。身障児(者)用トイレあり。
③ エレベーター 保育者の援助のもと、身障児(者)のためのバリアフリー対応としてエレベーターを設置しています。給食の搬送にも利用できます。
④ 研修施設等 地下1階には園内研修の勉強会のための教員研修室があり、3階のゲストルームはP.T.Aの活動に利用されています。
⑤ 給食設備 食育の重要性を認識し、ふれあいホールの一隅に自園調理に必要な調理機器 および配膳用機器を整え、自園給食を実施しています。
⑥ 園内全てLED電球を使用しています。

11. 収容定員・実員

(令和4年5月1日現在)

	3才児	4才児	5才児	合計
定員	120	140	140	400
実員	77	89	79	245
園則に定める学級数	5	4	4	13
実学級数	4	3	3	10
学級名	ぞう組19名 くま組20名 うさぎ組19名 ひよこ組19名	きく組29名 もも組30名 ふじ組30名	あやめ組26名 かんな組26名 つばき組27名	

12. 教職員組織

(令和2年5月1日現在)

	幼稚園教諭免許状の種類	担任・職務区分
専任園長	1種1名	-
専任教諭	専修0名 1種6名 2種5名	3才児担任4名・4才児担任3名・5才児担任3名・フリー教諭1名
兼任教諭	1種1名 2種5名	フリー教諭4名 預り保育担任1名・2歳児プレイルーム担任1名
事務職員	2種1名	専任1名(会計・庶務) 兼任1名(事務・渉外)・兼任1名(園務・事務)・兼任1名(園務)

13. 教員の平均年齢 36.8歳

14. 園医等の状況

園医	1名
園歯科医	1名
園薬剤師	1名

子育て支援のため「親子で遊ぼう」(未就園児対象)毎月第2土曜日は9回、「園庭開放」毎月第4土曜日は6回行いました。
 「教育相談」毎月第2土曜日に、「キンダーカウンセラー」(臨床心理士)は年間10回に親と子の育ちの場として未就園児を対象とした2才児クラス「プレイルーム」では身体の成長とともに知能や思考力、情緒、感性、社会性などを育てていく大切な成長の足掛かりとして色々な経験を与え、他の子どもとも少しずつ触れ合える場になりました。
 1日2時間週1回コース4クラス延べ1269人1回当たり12人が利用しました。
 赤ちゃんサロン「コアラーム」はコロナ対策の為、実施は取りやめました。

⑥ 園庭遊具の安全確認、砂場の消毒、水質保全検査・貯水槽清掃、火災報知設備点検修理、防犯システム点検修理、エレベーター点検整備、保育室・園庭遊具・プールの塗装替え、保育室・ホールの床ワックス掛けをはじめピアノ調律、植木や花壇の手入れ、学期ごとの各所補修工事等を行ないました。

(2) 本年度特に力を注いだ教育事業の取り組み

① 保育の充実のため重点的に取り組んだ目標・計画

項目	取組状況
10の姿をより深く学びあう	・教育理念、教育目標、教育方針を理解し、10の姿と関連付けた子どもの育ちを考える。 ・ドキュメンテーション作成する研修を行い、写真を通して子どもの思い、育ちを読み解く。その様子を10の姿と照らし合わせていく。 ・ドキュメンテーションを作成し、10の姿を表示し保護者に発信する。
遊びの環境	・季節を意識し、子どもが自ら遊びたくなる環境構成を工夫する。
異年齢・同年齢交流	・新たな生活様式での人とのつながりを考える。 ・年長組が年少組、お世話する。 ・収穫物などを他クラスに届け見せに行く。 ・郵便あそびなどで、他クラスの友だちや先生に手紙を書いたり、届けたりする。 ・行事の取り組みなど見合いっこし、よかったことを認めたり言葉にして伝え合う。 ・クラス解体し、他クラスの友だちと関わり遊ぶ機会を作る。
ICT化	◎保育者1人1台タブレットを導入。 ・システムを理解し、業務の効率化を考える。 ・保育に活用する。 ・保護者への発信のツールとして考える。 ・登降園の打刻、連絡、ドキュメンテーションの発信、料金管理、出欠確認、預かり保育利用登録などに用いる。

② 家庭との連携

- 保護者に毎日送迎してもらい、降園の時には園内に入って、園児の様子をその場でお話し、保護者から尋ねられた事についてすぐに答え、常にコミュニケーションを大切にしながら信頼関係の構築を図りました。
- 保育参観はコロナの為、保育室の広さを考慮し・人数・時間を短縮し2回行い、保護者懇談会は、学期ごとに個人面談の方式で行ないました。
- 毎月誕生会を行い、その月の誕生児の保護者をお招きして園児の様子を見てもらいました。
- 行事予定などのお知らせはホームページやアプリ、プリントで行い、各クラスの様子なども学年だより、自然・動物だよりで理解を深めてもらいました。
- 図書コーナーで年長児に週1回、絵本の貸出しを降園時に保護者の方と一緒に行いました。保護者用の図書もそろえました。保護者に絵本の紹介を年に3回配布しています。

③ 地域との連携

- 校区の小学校と連携を保ち、1年生に就学した子どもたちの様子を意見交換したりしました。就学前の体験入学に参加し小学生とかかわりを持ち、小学校の様子を知る機会となりました。
- 7月末には同園会を行い、1、2、3年生の子どもたちを園に招き、成長した姿を見ることができました。
- 校区中学校から職場体験に来てもらい、中学生とのかかわりを持つことができました。
- 年長児は夏には茨木市中央公民館で七夕伝説などのプラネタリウムを鑑賞にでかけました。

④ 教職員の研修

- 子どもたちにとっての一番の環境は教諭だと考え、教諭には自分を磨く努力を常にしてもらえよう、園内での勉強会、幼稚園連盟などが行う研修会などへwebで参加しました。
- 毎月研究保育を行い、どのクラスも年1回担当し、主に同学年の教諭・園長が参観し、VTR撮りも行い保育終了後に全教諭でディスカッションを行ないました。
- いろいろな方面から勉強ができるように内容に応じた講師を招き、園内研修を重ねました。

⑤ 施設、設備の充実

- 4月 ・保育室ワックスがけ ・春休み各所補修工事 ・園庭の総合遊具の入れ替え ・ピアノ調律
- 5月 ・水質検査 ・砂場の消毒 ・樹木剪定
- 8月 ・夏休み各所補修工事 ・貯水槽清掃工事 ・樹木剪定
- 9月 ・砂場の消毒
- 10月 ・廊下、階段、遊戯室のワックスがけ ・消防用設備点検
- 12月 ・冬休み各所補修工事
- 1月 ・樹木剪定・砂場の消毒
- 3月 ・保育室、廊下ワックス掛けがけ

⑥ 音楽指導

幼児期は、聞く力が発達します。年少組では簡単な打楽器を使いながら、好きな歌や好きなリズム打ちをしてリズムにのる楽しさを味わせました。
 年中組はリズムパターンを正確に打楽器で奏でられるよう、年長組ではリズム打ちからメロディーのでる楽器が使用できるようにしました。
 専門講師による指導は、昨年度はコロナでできなかったが、年長組は5月、年中組は6月から行いました。(年長組の鍵盤ハーモニカ指導は、コロナ対策の為9月から実施)

⑦ 体育指導

基礎体力が身についていくように体操器具を使いながら体のいろいろな部分が動くようにしました。マット・跳び箱・平均台・鉄棒・縄跳び・ボールなど、発達に応じた各学年の内容の指導計画を作成しました。専門講師による指導は、各学年年間9～10回実施しました。

⑧ 英語レッスン

楽しく英語に親しめるように外国人講師の先生と一緒に歌やゲーム遊びを行ないました。
 年中組、年長組ともに年6～7回実施しました。

⑨ 絵画指導

表現活動を通じて根気と集中力を身につけます。年少組、年中組、年長組ともに各クラス1回受けました。

⑩ 保育研究者や教育機関との連携

専門機関との連携をとりました。
 集団に入りにくく不安定な行動が目立ったり、言葉に関する問題を持っているといったことについて専門的な話を聞いたり、相談したりするようにしました。

⑪ 特別支援教育

症状により相談に応じ支援学級は編成せず、統合保育として行ないました。
 子どもたちには、いろいろな人がいることを知ったうえで、どんな人も認めあえるような、心の大きな人になってほしいと願っています。

⑫ 学校評価

自己点検、自己評価を実施し、保育者自らの振り返りを行ないました。
 学校関係者評価委員会を開催し、家庭連携や幼小連携、ICTの活用の工夫についてご意見を頂きました。

- (3) 学期等の状況 3学期制
 始業日・終業日 一学期 4月8日 ~ 7月20日
 二学期 9月1日 ~ 12月23日
 三学期 1月10日 ~ 3月23日

- (4) 保育時間等の状況
 保育時間 園 則 午前9:00 ~ 午後2:00
 実 態 午前8:40 ~ 午後2:10
 登降園時間 登園時間 午前8:40 ~ 午前9:00
 降園時間 午後2:00 ~ 午後2:10

- (5) 幼稚園5日制および教職員週休2日制
 ① 幼稚園5日制 実施 月3回土曜休日
 ② 教職員週休2日制 実施 第1、第5は週休2日制(第2、第3、第4は交代)

(6) 入学金、保育料および諸経費 (保育料25,700円無償化)

	入学金	保育料/月	絵本代/月	給食費/月平均	PTA/月平均	冷暖房費/月 (4・8月除く)
5才児	50,000円	27,000円	450円	4,540円	500円	600円
4才児	60,000円	27,000円	450円	4,540円	500円	600円
3才児	70,000円	28,000円	400円	4,540円	500円	600円

- (7) 保育料等の減免制
 ① 入園一時金の減免 減免の制度あり
 ② 経常的納付金の減免 減免の制度あり
 ③ その他の納付金の減免 減免の制度あり

- (8) 預かり保育の実施状況
 ① 通常保育期間中 実施時間 午後2:00 ~ 午後5:00
 ② 早朝預かり保育 実施時間 午前7:30 ~ 午前8:40
 ③ 延長預かり保育 実施時間 午後5:00 ~ 午後6:30
 ④ 春休み預かり保育 実施時間 午前8:00 ~ 午後6:00
 ⑤ 夏休み預かり保育 実施時間 午前8:00 ~ 午後6:00
 ⑥ 冬休み預かり保育 実施時間 午前8:00 ~ 午後6:00

- (9) 給食の実施状況
 ① 実施方法 給食業者に委託
 ② 週当たり平均実施日数 4日

- (10) 課外活動の状況
 ① 体操教室 月4回 ② 英語で遊ぼう 月1回 ③ チアダンス教室 月4回 ④ サッカー教室 月4回
 ⑤ English School 月3回

- (11) 健康診断の実施状況
 園 児 実施 台帳あり・教職員 実施 台帳あり

- (12) サポート(子育て支援)体制の状況
 ① 未就園児親子登園と園庭開放
 不特定多数の未就園親子を対象にした子育て支援活動を実施
 毎月第2土曜日 親子であそぼう 実施
 毎月第4土曜日 その月に相応した、お楽しみ会等実施
 ② 教育相談
 毎週水曜日 午前中 電話相談実施
 第2・第4土曜日 教育相談実施
 ③ 2歳児プレイルーム
 週1回 4コース
 身体の成長とともに知能や思考力、情緒、感性、社会性などの育ちの足がかりとして、
 色々な経験を与え、他の子どもとも少しずつ触れ合える場にしています。

- ④ 子育てサロン
 従来であれば、10カ月~2歳未満の親子を対象とした子育て支援活動を実施
 毎月第2火曜日 コアラルームを実施となるが、コロナ対策の為実施することができず中止しました。

- (13) カウンセリング体制の状況
 ① キンダーカウンセラー
 保護者の育児不安の解消、家庭教育の支援、教諭の保育指導の悩み等に
 対応するため、臨床心理士によるカウンセリングを年間10回実施。
 ② 臨床心理士による障がい児勉強会
 障がい児に関する臨床心理士による勉強会を年1回実施。

- (14) 安全・防犯体制の状況
 ① 監視カメラの設置
 正門内側と外側、南門、園舎北側通路、南側通路、築山裏に取付け
 ② 非常用緊急通報装置の設置
 各保育室・ホール・園庭など30箇所にワイヤレスカード式送信機を設置、
 警備会社にも直通
 ③ 教職員による見回り
 園の門は朝の登園が終われば閉め、その後1時間おきに園庭周りの巡廻実施
 ④ さすまたの設置
 園舎1F及び2F廊下に不審者侵入対策としてさすまたを設置
 ⑤ 正門、事務所玄関 オートロック、インターホンモニター

Ⅲ 財務の概要

学生生徒納付金収入は、園児数249名の本年度93,766千円で前年度比19,819千円減額となりました。
 経常費補助金等の補助金収入は、57,543千円と前年度比の1,806千円増額となりました。
 また、今年度は園内設備の充実に努め、施設整備関係支出は17,576千円となりました。
 翌年度繰越支払資金は394,316千円と前年比17,438千円の減額となりました。
 事業活動収支では、本年度教育活動収入は前年度比20,061千円減額の174,328千円となり、
 教育活動支出159,288千円との差額で15,041千円の収入超過となり、資産の取得による基本金の組入れ8,965千円
 を考慮して、当年度収支差額は8,977千円となりました。

資金収支計算書

令和4年 4月 1日から

令和5年 3月 31日まで

(単位 千円)

収入の部			
科 目	令和4年度	令和3年度	増 減 額
学生生徒等納付金収入	93,766	113,585	△ 19,819
手数料、寄附金収入	219	273	△ 54
補助金収入	57,543	55,737	1,806
資産売却収入	90,589	0	90,589
付随事業・収益事業収入	22,482	20,227	2,255
受取利息・配当金収入	2	3	△ 0
雑収入	2,524	4,567	△ 2,043
その他の収入(前受、その他)	26,075	36,176	△ 10,101
資金収入調整勘定	△ 10,556	△ 11,303	746
前年度繰越支払資金	411,754	368,631	43,124
収入の部合計	694,397	587,896	106,501
支出の部			
科 目	令和4年度	令和3年度	増 減 額
人件費支出	83,138	93,067	△ 9,929
経費支出	53,737	71,160	△ 17,422
借入金等返済・利息支出	0	0	0
施設・設備関係支出	17,576	6,223	11,353
その他の支出(資産運用、その他)	153,043	19,183	133,860
資金支出調整勘定	△ 7,412	△ 13,490	6,077
翌年度繰越支払資金	394,316	411,754	△ 17,438
支出の部合計	694,397	587,896	106,501

事業活動収支計算書

(単位 千円)

教育活動収支			
科 目	令和4年度	令和3年度	増 減 額
学生生徒等納付金	93,766	113,585	△ 19,819
手数料、寄附金	377	273	104
補助金	55,180	55,737	△ 557
付随事業収入	22,482	20,227	2,255
雑収入	2,524	4,567	△ 2,043
教育活動収入計	174,328	194,389	△ 20,061
人件費	83,138	93,067	△ 9,929
経費	76,150	95,175	△ 19,025
教育活動支出計	159,288	188,242	△ 28,954
教育活動収支差額	15,041	6,147	8,893
教育活動外収支			
科 目	令和4年度	令和3年度	増 減 額
受取利息・配当金	2	3	△ 0
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	2	3	△ 0
借入金等利息	0	0	0
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	2	3	△ 0
特別収支			
科 目	令和4年度	令和3年度	増 減 額
資産売却差額	589	0	589
その他の特別収入	2,363	0	2,363
特別収入計	2,952	0	2,952
資産処分差額	0	0	0
その他の特別支出	53	0	53
特別支出計	53	0	53

科 目	令和4年度	令和3年度	増 減 額
特別収支差額	2,899	0	2,899
予備費	0	0	0
基本金組入前当年度収支差額	17,941	6,150	11,792
基本金組入額合計	8,965	805	8,159
当年度収支差額	8,977	5,344	3,632
前年度繰越収支差額	△ 107,004	△ 112,349	
基本金取崩額	0	0	
翌年度繰越収支差額	△ 98,027	△ 107,004	8,977

貸借対照表

(単位 千円)

科 目	令和4年度	令和3年度	増 減 額
資産の部			
固定資産	898,490	867,361	31,129
流動資産	397,721	413,043	△ 15,322
資産の部合計	1,296,211	1,280,404	15,807
負債の部			
固定負債	7,404	3,918	3,486
流動負債	9,513	15,133	△ 5,620
負債の部合計	16,917	19,051	△ 2,134
純資産の部			
基本金	1,377,322	1,368,357	8,965
繰越収支差額	△ 98,027	△ 107,004	8,977
純資産の部合計	△ 98,027	△ 107,004	8,977
負債及び純資産の部合計	1,296,211	1,280,404	15,807

財産目録

(単位：千円)

1. 資産総額	1,296,211
I 固定資産	898,490
II 流動資産	397,721
2. 負債総額	16,917
I 固定負債	7,404
II 流動負債	9,513
3. 正味財産	1,279,295